

5th All Japan Para Standing Tennis Tournament
第5回全日本障がい者立位テニス選手権大会
報告書
Report



General Incorporated Foundation
JAPAN ADAPTIVE STAND-UP TENNIS ASSOCIATION

一般社団法人 日本障がい者立位テニス協会

2026.10.20

第5回全日本障がい者立位テニス選手権大会 実施概要

- **日 時** 令和8(2026)年10月4日(日)
受付開始 9:15～、開会式 10:00～、試合開始 10:30～
- **場 所** 千葉市 フクダ電子ヒルスコート 千葉県千葉市中央区川崎町 2-18
No11~20 コート(オムニコート)
- **主 催** 一般社団法人 日本障がい者立位テニス協会(JASTA) 
- **後 援** 千葉県・千葉市・千葉市教育委員会・公益財団法人日本テニス協会
- **特別協賛** BNP パリバ・グループ・タムラクリエイト株式会社(Ken's)・株式会社富士薬品
特定非営利活動法人デポーム
- **協 賛** ヨネックス株式会社・株式会社キモニー・ウインザーラケットショップ
- **協 力** オットーボック・ジャパン株式会社・inMirrors 株式会社
- **大会委員長** 柴谷 健(JASTA)
- **競技委員長代理** 雨宮 郁夫(JASTA)

- **参加資格** 身体障害者手帳を保有し、肢体に障がいがある方
(四肢のいずれかの切断、欠損、片麻痺、四肢麻痺、先天性の奇形など)
- **ク ラ ス** PST-1・PST-2・PST-3・PST-5(PST-4、PST-6はえ)
- **出場者数** 26名(PST-1=5名・PST-2=7名・PST-3=10名・PST-5=4名)
- **参 加 費** 5,000円(一般)・3,000円(JASTA PLAYERS CLUB会員)
- **競技種目** シングルス
- **審判方法** セルフジャッジ
- **競技方法** PST-1 = 総当たり戦
JTA テニスルール・1セットマッチ(6ゲーム先取)
PST-2・PST-3 = トーナメント方式(コンソレーションマッチ有り)
JTA テニスルール・1セットマッチ(6-6 7Pタイブレーク)
本戦決勝戦のみ8プロセットマッチ(8-8 7Pタイブレーク)
PST-5 = 総当たり戦
規定のコートサイズ、オレンジボール使用、1セットマッチ(6ゲーム先取)
それ以外はJTA テニスルールに準じる
- **使 用 球** PST-1~3 = ヨネックス ツアープラチナム
PST-5 = ヨネックス マッスルパワーボール30(オレンジボール)
- **関係者数** 16名(出場選手を除く大会運営スタッフ総数)
- **来場者数** 約40名

開催へのご支援お礼

この大会は、日本で（おそらくアジアオセアニア地域でも）唯一の立位テニス競技の全日本競技大会です。第1回大会は2019年5月に開催され、今回が第5回大会となります。

今大会は、千葉県、千葉市、千葉市教育委員会、公益財団法人日本テニス協会（JTA）からのご後援と7社のご協賛を賜りました。特別協賛を得られたことで、試合を動画で残すための機材の購入ができました。これまでは数台のビデオカメラを一定時間おきに別のコートに移動して試合の動画を部分撮りしていました。これからは各コートに機材を設置できるようになり運営スタッフの負担も軽減でき、他のサポート業務を充実させられることもメリットです。また記録を残し公開する事で競技をより知って頂いたり、選手の分析に活用することができるようになります。

大会運営スタッフはJASTA PARTNERS CLUBのメンバーや選手のご家族を中心に、名乗り出て下さった16名にお願いしました。お陰さまで、大きな事故もなく大会を終えられました事をご報告し、ご支援頂きました全ての皆様に心より感謝を申し上げます。

今年の大会から、特定非営利活動法人デポーム様のご協力により、大会にドクターを派遣して頂けるようになりました。これまで出場選手にドクターを兼務して頂いていましたが、負担が大きいことが気になっていました。テニスに精通したドクターに専任でお越し頂けるようになり大変助かっています。

大会当日は雨を心配することなく、風も穏やかで絶好のテニス日和となりました。26名の選手が障がい別の4つのクラスに分かれて戦いました。今大会に初めて試合に出場する選手がいた事もとても嬉しかったです。

この数年で世界の様々な地域で立位テニスの国内、国際大会が数多く開催されるようになってきました。国際テニス連盟（ITF）からのサポートが得られるようになった事も競技の成長を後押ししています。グランドスラム4大会でも、様々な障がい者テニスを紹介するショーケースイベントやオープン競技が併催され、その中で立位テニスにもスポットが当たっています。JASTA所属の日本人選手は積極的に国際大会へ出場し、好成績を残しています。その結果、立位テニスの国際ランキング上位選手のみが招待されるUS OPENでのPara Standing Invitationalにも3年連続でJASTA所属選手が出場を果たしています。

JASTAは、国内での競技普及を活動の中心に置き、選手の獲得とレベルアップに努めます。立位テニスは確実にステップアップしています。これからも立位テニスに、JASTAに、どうぞご期待下さい。

第5回全日本障がい者立位テニス選手権大会
大会委員長

一般社団法人日本障がい者立位テニス協会（JASTA）
代表理事

柴谷 健 Ken SHIBATANI



会場アクセス

<千葉市 蘇我スポーツ公園 フクダ電子ヒルスコート>



電車

JR 蘇我駅西口より徒歩 30 分

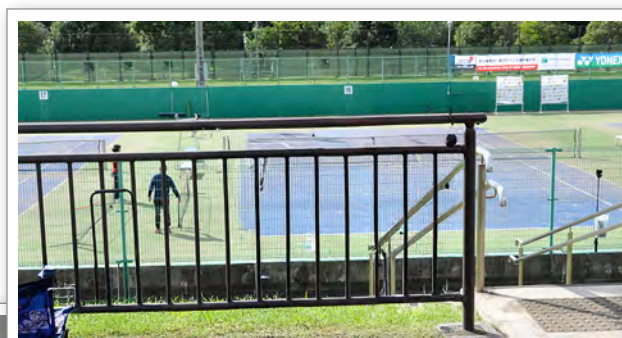


車

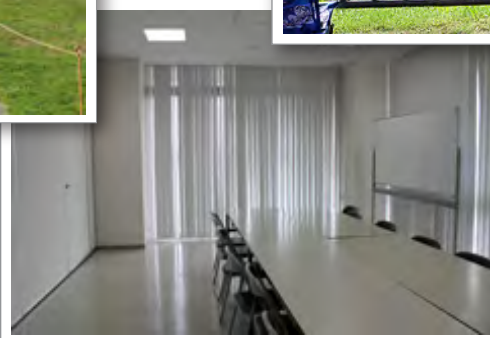
第 2 駐車場 (1 時間 100 円・障がい者は料金免除)



会議室前
(左右に 10 面づつコートがあります)



コート

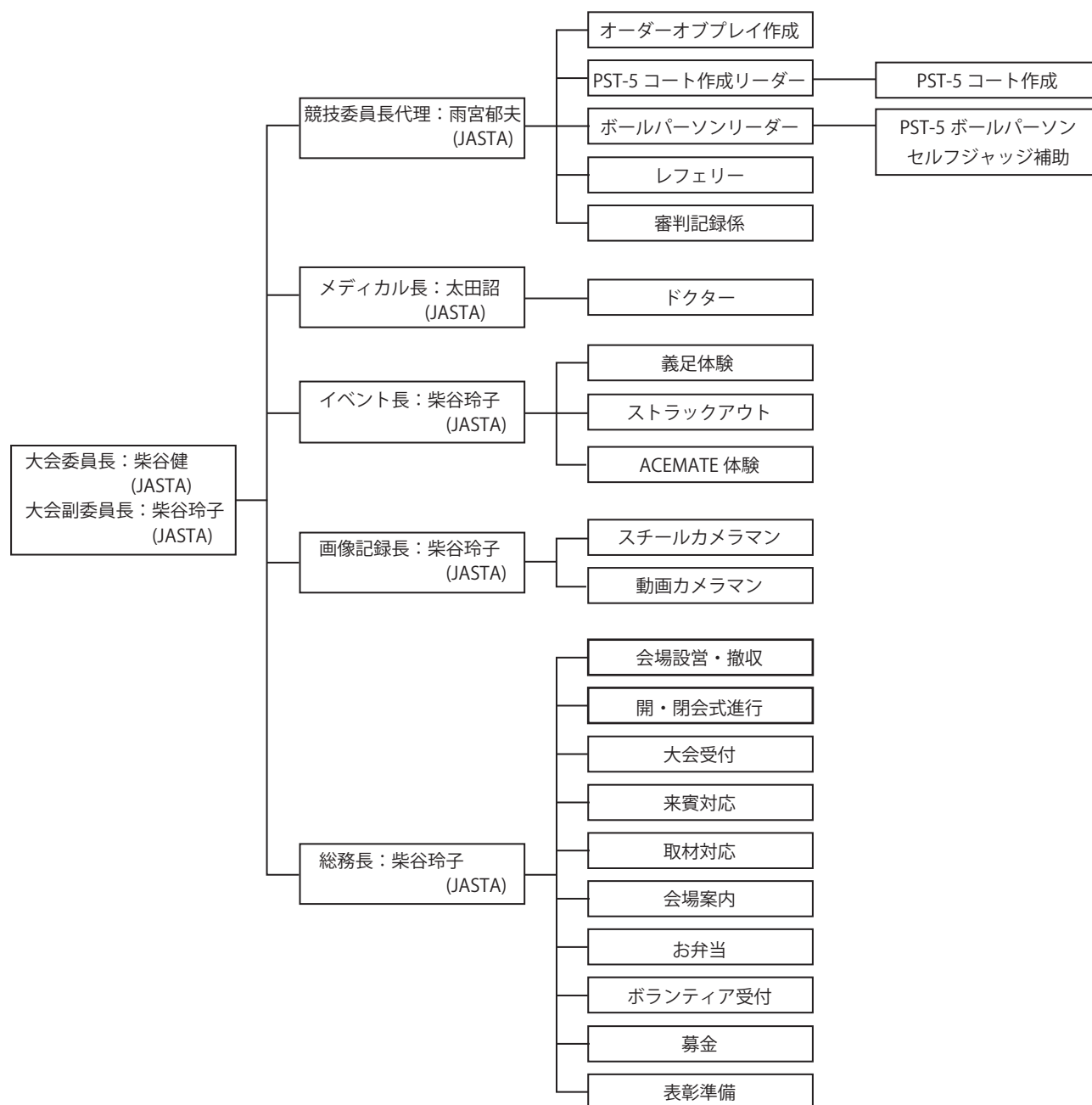


会議室
(大会本部、選手待機室に使用)

スケジュール

- 2025 年 11 月 10 日 ● 千葉市へ優先予約希望提出
・希望日を複数提示
- 2026 年 3 月 3 日 ● 千葉市より予約確定通知、日程と場所が確定
- 2026 年 7 月下旬 ● 大会方針を定め、協賛依頼開始
・予算書・大会要項を策定
・協賛金、商品協賛、パンフレット広告協賛の依頼開始
・関係各所に大会概要を通知し、情報拡散協力を依頼
・千葉市・千葉市教育委員会・日本テニス協会に後援申請
・キービジュアル作成、ポスターとチラシを発注
・大会専用 web ページ立ち上げ
- 2026 年 8 月上旬 ● 協賛、物品協賛決定
・実行予算書作成
・千葉市・千葉市教育委員会・日本テニス協会より後援承認
・会場指定管理者と事前打ち合わせ
・大会使用球の一部協賛が決定
- 2026 年 8 月 5 日 ● 出場申し込み・運営スタッフ受付開始
- 2026 年 9 月 16 日 ● 出場申し込み締め切り
・ドロー会議
・中央・美浜公園緑地事務所へバナー掲出等にかかる占用許可申請
・表彰用品発注
・協賛バックバナー発注、運営用品購入
・当日の傷病搬送受け入れを千葉メディカルセンターに依頼
- 2026 年 9 月 25 日 ● ドロー発表・制作物発注
・プログラム印刷入稿
・運営マニュアル・当日配布資料・サイン作成
・保険加入・占用料納付・お弁当予約
- 2026 年 9 月 30 日 ● 協賛品、表彰用品受領
・配布・掲示用資料出力・大会用品検品、当日案内を関係者にメール
・体験義足借り受け
- 2026 年 10 月 3 日 ● 搬入物仕分け・積み込み
- 2026 年 10 月 4 日 ● 大会当日
- 2026 年 10 月 6 日 ● 大会パンフレットを協賛各社へ送付
・借り受け品の返却
- 2026 年 10 月 7 日 ● リザルトを公開
・出場選手の JASTA ポイントを反映したランキングをリリース
・報告書・収支報告書作成開始・選手・協賛・協力の各所へ大会終了報告
- 2026 年 10 月 20 日 ● 大会報告書完成
・印刷へ回し、完成後に関係各所に郵送予定

組織図



大会運営スタッフ（敬称略、あいうえお順）

本部：雨宮郁夫・宇野典子・神崎 空・神崎千鶴

カメラマン：泉 仁志

ドクター：太田 詔（選手兼務）・＜派遣＞鈴木正彦（東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座 教授）

運営：今村正幸・鈴木菊乃・鈴木康司・庄内久美・高野修・高野洋子・原田聖也・宮下守弘

事前・事後協力：中川勝就・成島代志子・坂倉陽子

大会事務局：柴谷 健・柴谷玲子

大会運営を支えて下さり、ありがとうございました。

大会当日の傷病発生時の受け入れ依頼先

千葉メディカルセンター（院長 福田和正先生に書面にて依頼）

<キービジュアルデザイン>

この大会は、障がい者立位テニス競技の日本一を決める大会である。そこで優勝者に敬意を表し、前回大会の各クラス優勝者の写真をキービジュアルに使用する事を通例としている。

今回の4選手は、第4回大会優勝者。PST-1の高野健一選手、PST-2の村山巧弥選手、PST-3の波田野裕介選手、PST-5の関谷譲選手。第4回大会の時に、プロカメラマンの泉仁志氏に撮影頂いた写真を撮影者と本人の許諾を得て使用。

背景は自由に走る筆のタッチとストリングをイメージし、躍動感溢れる選手を引き立たせるデザインを心掛けた。



📌 ポスター（フルカラー）

A2 タテ 700 枚

📌 チラシ

（表裏フルカラー）

A4 タテ 700 枚

ご後援頂いた千葉市、協賛各社、
障害者スポーツセンター、テニス
関係企業等に配布して大会告知



📌 大会パンフレット（フルカラー）

A4 タテ 20 ページ

150 部

広告掲載 7 社

全国から集まる選手同士の交流や応援に
役立て、競技者を理解してもらう為に
選手の顔写真とプロフィールを掲載

大会当日に選手とスタッフに配布
後援、協賛先には後日発送

ドロー・結果 PST-1

Photo byHitoshi IZUMI

プレゼンター：柴谷健（全日本大会委員長）



優勝 高野健一選手（千葉県）



準優勝 シェラブ ウィリアム選手（東京都）

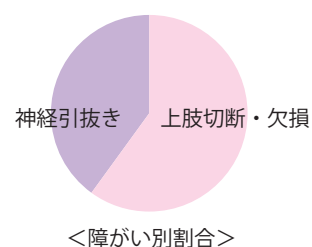
Draw

全試合：1セットマッチ（6ゲーム先取）・総当り戦の為、コンソレーション無し

2者間で勝ち数が同じ場合＝直接対決の勝者が上位

3者間で勝ち数が同じ場合＝ゲーム取得率が高い方が上位

（ゲーム取得率＝総取得ゲーム数÷総ゲーム数）



	Soichiro SATO	Kenichi TAKANO	Kaito SUZUKI	Yuto ADACHI	William SHERAB	勝 負	順位
佐藤聡一郎		0 6	3 6	1 6	1 6	0—4	5
高野健一	(6) 0		(6) 0	(6) 0	(6) 0	4—0	1
鈴木凱大	(6) 3	0 6		2 6	0 6	1—3	4
足立優斗	(6) 1	0 6	(6) 2		1 6	2—2	3
シェラブ ウィリアム	(6) 1	0 6	(6) 0	(6) 1		3—1	2

ドロー・結果 PST-2

Photo by Hitoshi IZUMI

プレゼンター：柴谷健（全日本大会委員長）



優勝 村山巧弥選手（神奈川県）

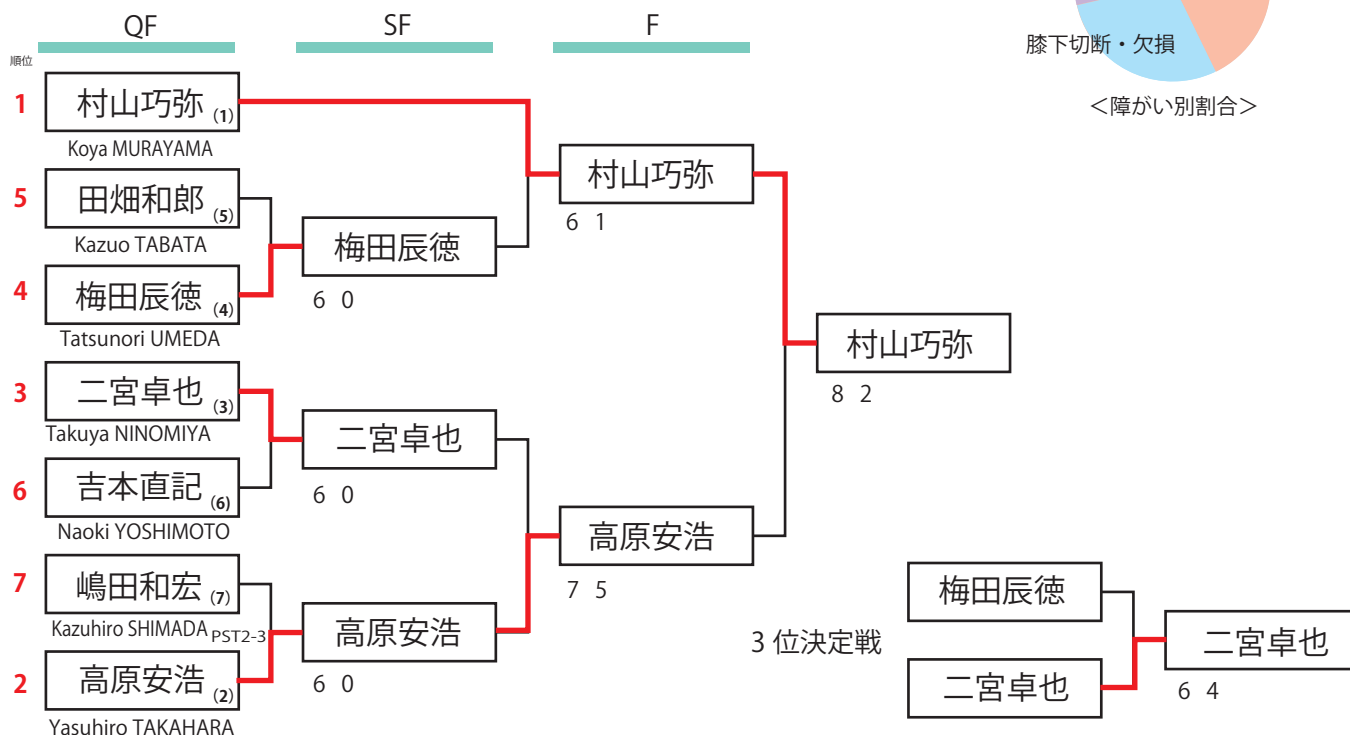
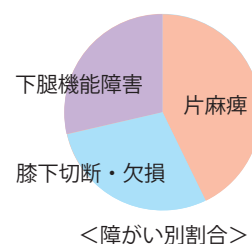


準優勝 高原安浩選手（東京都）

Main Draw

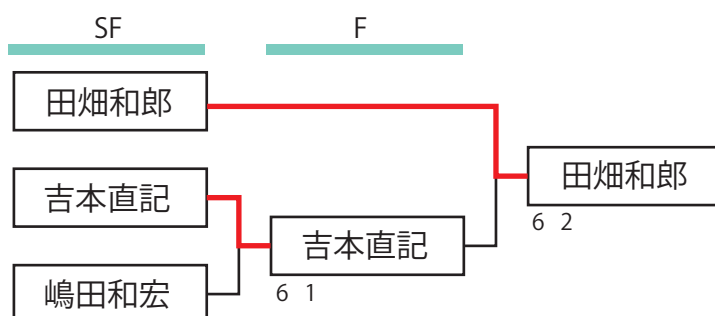
本戦決勝以外の試合：1セットマッチ（6-6 7pタイブレーク）

本戦決勝：8 ゲーム マッチ（8-8 7P タイブレーク）



Consolation Draw

全試合：1セットマッチ（6-6 7pタイブレーク）



ドロー・結果 PST-3

Photo by Hitoshi IZUMI

プレゼンター：柴谷健（全日本大会委員長）



優勝 岸 俊介選手（神奈川県）

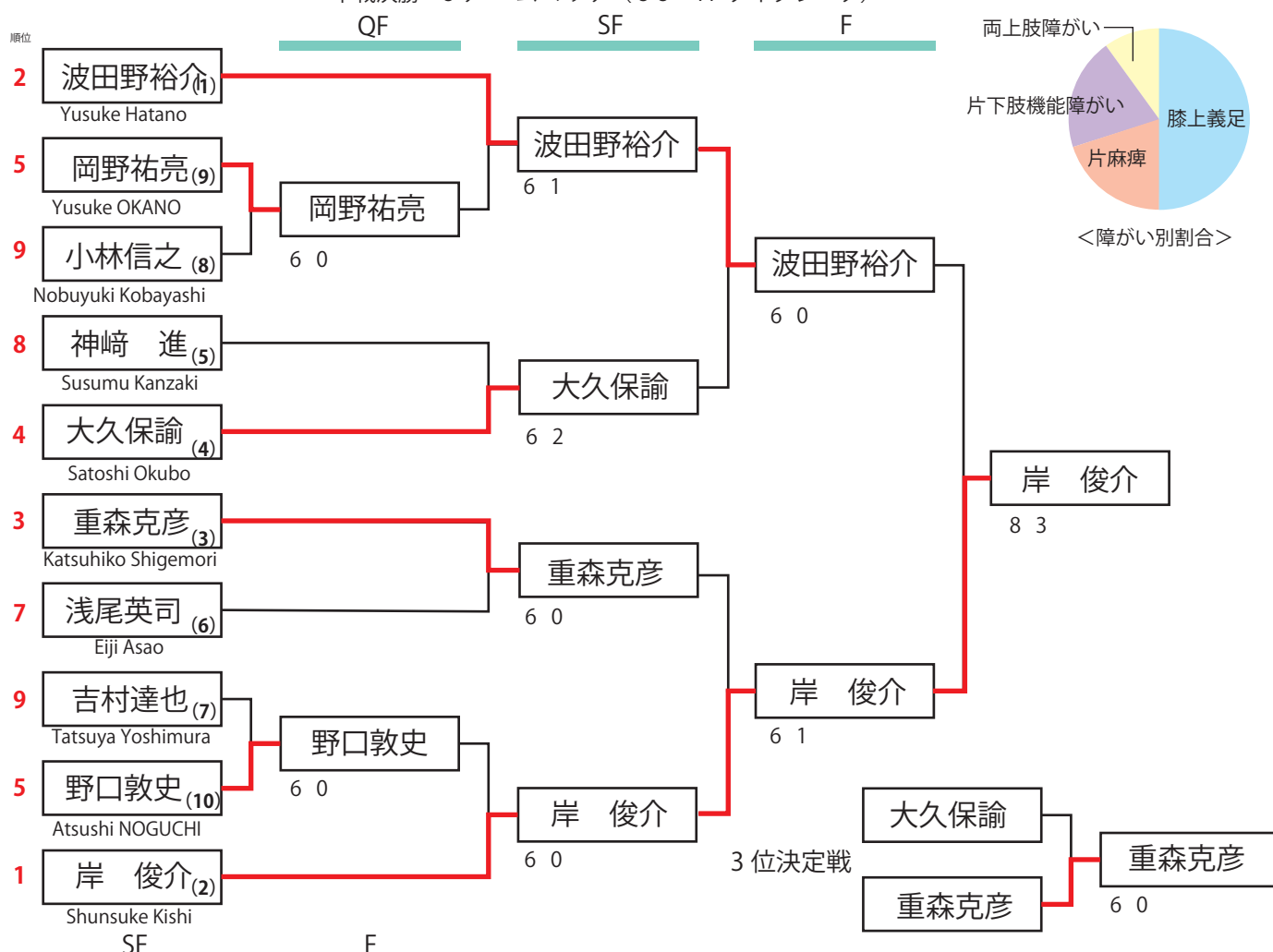


準優勝 波田野裕介選手（神奈川県）

Main Draw

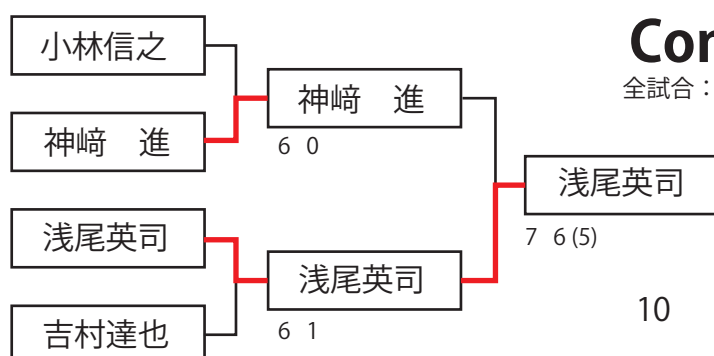
本戦決勝以外の試合：1セットマッチ（6-6 7pタイブレーク）

本戦決勝：8 ゲームマッチ（8-8 7P タイブレーク）



Consolation Draw

全試合：1セットマッチ（6-6 7pタイブレーク）



ドロー・結果 PST-5

Photo byHitoshi IZUMI

プレゼンター：柴谷健（全日本大会委員長）



優勝 関谷 譲選手（茨城県）



準優勝 青柳永遠選手（山梨県）

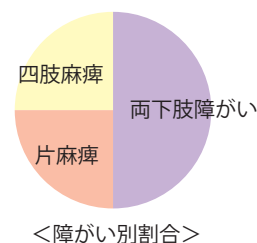
Draw

全試合：1セットマッチ（6ゲーム先取）・総当り戦の為、コンソレーション無し

2者間で勝ち数が同じ場合＝直接対決の勝者が上位

3者間で勝ち数が同じ場合＝ゲーム取得率が高い方が上位

（ゲーム取得率＝総取得ゲーム数 ÷ 総ゲーム数）



	Yusei AOKI 青木祐成	Towa AOYAGI 青柳永遠	Sho OHTA 太田 詔	Joe SEKIYA 関谷 譲	勝 負	順位
青木祐成		3 6	⑥ 3	1 6	1—2	3
青柳永遠	⑥ 3		⑥ 4	4 6	2—1	2
太田 詔	3 6	4 6		1 6	0—3	4
関谷 譲	⑥ 1	⑥ 4	⑥ 1		3—0	1



表彰者集合写真

開会式

All Photo by Hitoshi Izumi



本部スタッフは白ポロシャツ、JASTAの選手は赤Tシャツを着用



競技説明は、競技委員長代理の雨宮郁夫様よりご説明いただいた

表彰・閉会式

All Photo by Hitoshi Izumi



優勝者にはトロフィーとラケットバッグ、準優勝者には盾とパラソルを贈呈



入賞者スピーチ



＜本部スタッフ＞ 今回はいつもの本部スタッフが当日参加できなかったため、本部を代行して大会を進めて頂いた



＜大会委員長＞
JASTA 柴谷健よりお礼の言葉

Photo Gallery

Photo by Hitoshi Izumi



試合会場のある公園全体案内図



大会本部（左）と大会受付（右）の設営



式典用背景として協賛バックバナーを設置



会場バナー



ネットにゲームカウンターとクラスバナー設置



PST-5 用コートは自作の定規を用いてオレンジステージコートラインを引く



同会場で行われていた千葉県の中学ソフトテニス大会の関係者様にご挨拶



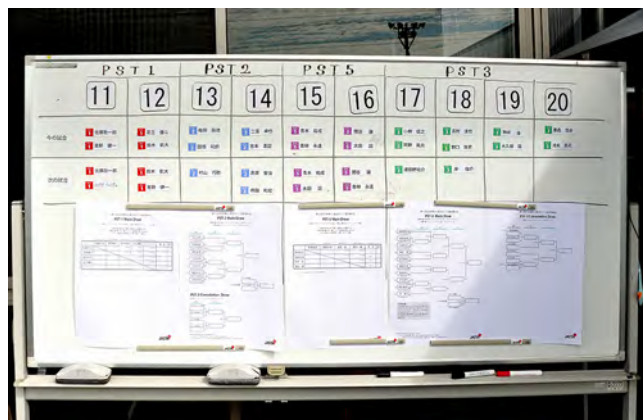
JASTA の自慢、選手も自主的に設営や撤収を手伝ってくれます

Photo Gallery

Photo by Hitoshi Izumi



オーダーオブプレイの貼り出し



選手とスタッフは常にオーダーオブプレイを確認



選手受付



選手とスタッフにはネームタグを用意



大会スポンサーのKen's テニススクール田村社長（右）にUS OPENを報告する村山選手（左）



JASTA マスコットのティラノザウルス支度中



選手兼ドクターの太田選手と派遣ドクターの顔合わせ



デポー様から派遣頂いた大会ドクター 鈴木正彦先生

Photo Gallery

Photo by Hitoshi Izumi



開会式終了後に第一試合の呼び出し



本部が選手にスコアカードとボールを入れた手提げを渡すのは、肢体障がいのある選手が持ち運びやすい為



試合終了後は選手がスコアカードにサインをして本部へ提出



<PST-1> 欠損部位が同じ選手同士の対戦



PST-2 決勝戦 何度も対戦してきたライバル



PST-3 決勝戦 何度も対戦してきたライバル



試合の合間に昼食を取る



JASTA の大会は選手とスタッフに同じお弁当を支給
「同じ釜の飯を食う」ことで仲間意識を高める photo by JASTA

Photo Gallery

Photo by Hitoshi Izumi



＜交流イベント＞全試合終了後に実施「義足体験」
協力：オットーボック・ジャパン株式会社



＜交流イベント＞全試合終了後に実施「義足体験」 photo by JASTA
明治神宮外苑テニスクラブ場長 粟津幸二様も体験



＜交流イベント＞全試合終了後に実施「ACEMATE 体験」
協力：inMirrors 株式会社



＜交流イベント＞全試合終了後に実施「ACEMATE 体験」
最新球出し練習マシンとの対決を楽しんだ



＜交流イベント＞全試合終了後に実施「ストラックアウト」
JASTA オリジナル制作、一人 12 球で何枚のパネルを打ち抜けるか



＜交流イベント＞全試合終了後に実施「ストラックアウト」
選手のご家族が球出しを担当



＜PST-1＞佐藤聡一郎選手・右腕神経叢引き抜き損傷



＜PST-1＞足立優斗選手・左腕神経叢引き抜き損傷

Photo Gallery

Photo by Hitoshi Izumi



<PST-1> 鈴木凱大選手・先天性左上肢機能障害



<PST-2> 梅田辰徳選手・下肢全ての指を失ったもの



<PST-2> 嶋田和宏選手・言語障害・右片麻痺



<PST-2> 田畑和郎選手・左片麻痺



<PST-2> 二宮卓也選手・左下腿切断



<PST-2> 吉本直記選手・左下肢機能障害



<PST-3> 浅尾英司選手・右大腿切断



<PST-3> 大久保諭奈選手・左大腿切断

Photo Gallery

Photo by Hitoshi Izumi



<PST-3>岡野祐亮選手・右大腿切断



<PST-3>神崎 進選手・四肢関節拘縮症



<PST-3>小林信之選手・右下肢機能障害



<PST-3>重森克彦選手・右片麻痺



<PST-3>野口敦史選手（初）・左下肢機能障害・感音性難聴



<PST-3>吉村達也選手・左片麻痺・左半盲



<PST-5>青木祐成選手・四肢麻痺



<PST-5>太田 詔選手・両下肢機能障害

収支報告

2026 年 10 月 20 日作成

収入の部

項 目	金額 (円)	内 容
参加費	78,000	3,000 円 / 1 人、26 名
特別協賛金	750,000	3 社 1 団体様より
広告協賛金	0	
寄付	400	募金箱
協会負担金	0	収入より支出が上回る場合に不足分を負担
収入合計	828,400	

支出の部

項 目	金額 (円)	内 容
会場使用料	0	(会場使用料は千葉市による 100%免除)
都市公園占用使用料	32,910	千葉市 (協賛各社バナー掲出にかかる占用)
大会使用球費	2,475	(一部協賛・オレンジボールのみ購入)
印刷費	60,029	A4 チラシ 700 枚、A2 ポスター 70 枚、A4 パンフレット 150 部 A4 報告書 150 部
デザイン版下作成費	100,000	R-WORKS
会場装飾費	15,862	協賛バックバナー作成
	0	大会名バナーは既存流用
運営備品費	176,196	動画撮影用アクションカメラ、三脚
オレンジコート作成備品費	3,000	50mm 巾マスキングテープ
事務用品費	7,798	発送用梱包資材、ネームタグ
表彰用品費	67,892	優勝トロフィー 4 点、準優勝盾 4 点、各副賞
参加賞費	8,928	(一部協賛)
送料・通信費	23,940	チラシ、ポスター、資料の発送費
衛生・救護用品費	0	既存流用
会議費	3,804	会議室利用料、喫茶代
選手・運営スタッフ昼食費	23,970	お弁当 + 水 (45 名分)
運営スタッフ謝金費	28,000	3,000 円 × 6 名、5,000 円 × 2 名
旅費交通費	6,520	高速料金、ガソリン代
イベント保険費	3,239	100 名 (選手、スタッフ、イベント参加者) 想定
大会本部経費	65,000	競技委員長代理、本部代行、大会メディカル経費
	12,928	本部スタッフ用ポロシャツ製作
大会記録費	20,000	スチールカメラマン 1 名
企画・マニュアル・資料作成費	100,000	space design studio arc
雑費	3,058	駐車場代、振込手数料
支出合計	765,549	

収入合計 828,400 円 - 支出合計 765,549 円 = 62,851 円

※ 余剰金は協賛各社さまとの取り決めにより弊協会活動費に算入します。

※ 送料・通信費は冊子報告書を関係各所に発送する経費を含みます。

The 5th Champions & Runners 第5回チャンピオンと準優勝者

Photo by Hitoshi Izumi



PST-1 優勝 高野健一選手・左手全ての指欠損



PST-1 準優勝 シェラブ ウィリアム選手・先天性左上肢機能障害



PST-2 優勝 村山巧弥選手・左片麻痺



PST-2 準優勝 高原安浩手・左下腿切断



PST-3 優勝 岸 俊介選手・左大腿切断



PST-3 準優勝 波田野裕介選手・左大腿切断



PST-5 優勝 関谷 譲選手・両下肢機能障害



PST-5 準優勝 青柳永遠選手・右上下肢機能障害